

コンタクトレンズで失明？

『何を馬鹿なことを』と思われるかも知れません。でも実際に起こり得ることなのです。どんなコンタクトレンズ（CL）でも目にとっては異物です。目に傷をつける可能性があります。もし角膜（黒目）に傷がつくと、そこから細菌、真菌、アメーバなどの微生物が入り込み、ひどい時には角膜潰瘍となって入院治療を余儀なくされる場合があります。特に消毒や洗浄などの手入れが悪いレンズや汚れた容器では、微生物が繁殖しやすくなり要注意です。またこのようなレンズを装用していると、巨大乳頭状結膜炎というアレルギーが起こることがあります。勿論正しく使用していてもCLによる眼障害は起こることはありますが、極めて少ないと思われま

す。ではCLによる眼障害を少なくするにはどうしたらいいのでしょうか。CLをしたいと思ったら、まず眼科医に相談することです。眼科で診察を受けてから、CLを入れても大丈夫か、どんなCLがよいのか、どんなケアがよいのかを決めてもらってください。CLを使い始めたら、必ず指示通りに使ってください。充血や眼痛など目の症状があるときは絶対に入れないで、CLを持って直ちに眼科を受診してください。消毒、洗浄の必要なCLでは、それらを忠実に行ってください。またケア用品を変えるときは、ケア方法を熟知した方に相談の上変更するようにしてください。汚れた容器は使用しないで、新しいものに変えてください。自覚症状がなくても、CLを処方してもらった眼科を定期的を受診し、眼障害の有無をチェックしてもらってください。CLは医療用具です。アクセサリ用品ではありません。一步使い方を間違えると失明、あるいは強度の視力障害をきたすことがあります。甘く考えるととんでもないことになりますので、ご注意ください。

平成12年11月
武田 純爾